

2050年カーボンニュートラルの実現に向け、住宅・建築物の脱炭素化をさらに推進するとともに、国際的な潮流に対応するためライフサイクルカーボン評価（LCCO2評価）を行い、ライフサイクルカーボン削減に資する先導的な事業等への支援を行う。

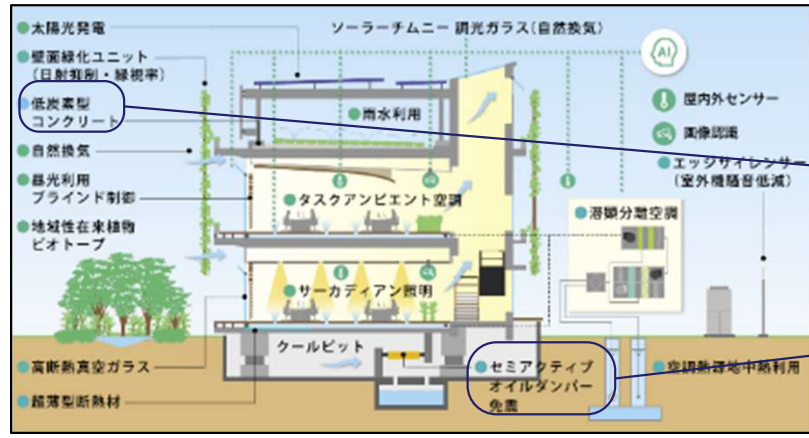
ライフサイクルカーボン削減に向けて先導性の高い住宅・建築物のプロジェクトについて民間等から提案を募り、支援を行う



事業の成果等を広く公表することで、取組の広がりや社会全体の意識啓発に寄与することを期待

先導技術の一例

■建築物



■建設時における省CO2効果がある技術

■建物を長寿命化させる取組

■住宅



■高断熱による外皮負荷削減とエネルギー消費量のミニマム化

■水素吸蔵合金を利用した季節間のエネルギー融通システム

■EV・V2Hによる電力融通

■街区の緑化、周辺地域の避難場所提供

「先進性」と「普及・波及性」を兼ね備えたプロジェクトを先導的と評価

- ・学識経験者から構成される評価委員会において評価し、採択を決定
- ・「ライフサイクルカーボンを削減する取組」等に資するプロジェクト等を積極的に評価

<p><補助対象> 設計費、建設工事費等のうち、先導的と評価された部分</p> <p><補助率> 1/2 等</p> <p><限度額> 原則3億円/プロジェクト 新築の建築物又は共同住宅について 建設工事費の5% 等</p>	<p><要件> ・CO2削減等に寄与する先導的な技術を導入し、その導入の効果等について検証を行うこと</p> <p>・新築の場合、ZEH・ZEB水準に適合すること</p> <p>・大規模建築物(2,000㎡以上)の新築・増改築・改修の場合、LCCO2評価を実施すること(評価結果は国に報告) 等</p>
--	--

※下線部は見直し事項